

その契約、本当に必要ですか？

光回線契約トラブルにご注意を

相談事例

光回線業者から「料金が安くなる」と電話で勧誘を受け、契約した。約1カ月後に工事が完了し、契約書を確認したところ、契約した覚えのないオプションにいくつも加入していた。その後、5,000円の請求書が届いたが、何の請求なのかも分からない。

契約を全て解約し、元の回線に戻したい。

ここをチェック！

- ☒ 事業者名を確認する
- ☒ 紙の書面を請求する
- ☒ その日に契約しない



電話勧誘で気を付けること

「安くなる」と言われて契約したのに、覚えのないオプションが付いて、かえって高くなったという、光回線の契約トラブルに関する相談が後を絶ちません。こうしたトラブルを防ぐため、勧誘の電話がかかってきた際は、まず必ず「事業者名」と「契約するサービス名」を確認しましょう。

電話口では冷静な判断が難しいため、その日にすぐ契約を決めてしまうことは絶対に避けるべきです。法律上、電話勧誘を行う事業者には、契約前に「説明書面」を送付する義務があるので、その書面を取り寄せ、契約内容やサービスを事前によく確認した上で判断することが大切です。

突然の電話で手元に書面がない状態や、メール・SMS（ショートメッセージ）サービスなどで送られた画面を見ながら説明を聞くことに少しでも不安を感じる場合は、遠慮なく「説明書面を必ず紙で郵送してください」と求め、後日改めて説明を聞くようにしてください。手元に届いた紙の書面を

しっかり見ながら説明を聞き、本当に必要だと確信できた場合のみ契約へと進みましょう。少しでも分からないことがあれば、その場で契約してはいけません。

8日以内なら解約も

自宅に「契約書面」が届いたら、速やかに内容を確認することが重要です。もし契約した覚えがない、あるいは説明と異なる内容であれば、すぐに契約先の事業者へ申し出てください。光回線サービスは、契約書面を受け取った日から8日以内であれば、違約金を支払うことなく契約を解除できる「初期契約解除制度」の対象です。ただし、契約解除までに発生した事務手数料や日割りの利用料金、すでに実施された工事費用などの実費は、自己負担となる点に注意が必要です。少しでも不安なことがあったり、事業者との間でトラブルが生じた場合は、一人で悩まず、消費生活センターにご相談を！

石狩市消費生活センター ☎ 75・2282 所 市役所1階 日 平日10時～16時

土・日・祝日は 消費者ホットライン188(局番なし) にご相談を!

イルカのクビ、あるか？

ネズミ、キツネ、シカ。哺乳類はどの種でも、首の骨は7個。人間も、あんなに首の長いキリンも、同じ7個(図1)。このことは、知っている人も多いでしょう。

でも哺乳類は、それら陸上で暮らすものだけではありません、海にもいます。その1グループが鯨類、つまりイルカ・クジラの仲間です。彼らの首は、どうなのでしょう。

イルカやクジラに、首つてある？

海で泳ぐ彼らの体は、水の抵抗が少なく、ラグビーボールのような紡錘形。見たところ、どこまで頭で、どこから胴体だか分かりません。しかし体内の骨格を見てみると、頭骨のすぐ後ろ、背骨の列の先頭に、くびれた部分、つまり首があることが見てとれます(図2)。ここが首の骨。「頸骨」と言います。

この夏、厚田古潭の海岸にカマイ

ルカ(図3)の死体が流れ着きました。体長2m弱の死体を標本用に採集し、肉や脂をていねいに取り除き、きれいな骨だけにしてみると、イルカ・クジラの頸骨は、ほかの哺乳類とはだいぶ違った形をしていることが分かります。平べったい板のような骨が、何枚も重なった形になっているのです(図4)。その枚数を数えてみると……7枚あるのが分かるでしょうか。

そう、イルカ・クジラの首の骨の数も、人間やキリンと同じ。哺乳類の原則どおり、7個あるのです。ただし、そのほとんどは癒合(骨どうしがくっついていて)されていて、首を曲げたり回したりできません。

イルカ・クジラは進化の道すじで、首を自由に動かせることよりも、がつしりと固定して、水の中で速く、安定して泳げるというメリットを選びました。その結果が、この平べったい頸骨なのです。

陸上か水中か。首を動かすか安定させるか。暮らしぶりや外見はぜんぜん違ってても、同じ哺乳類、その先祖は共通です。外見からは、あるかどうか分からないイルカの首の骨ですが、その数や形は、数千万年間の生命の進化を見せてくれます。

(志賀健司)

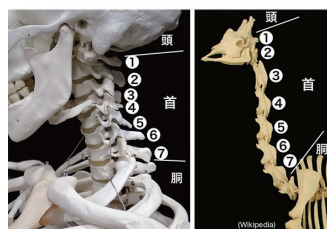


図1 人間(左、模型)もキリン(右)も首の骨は7個

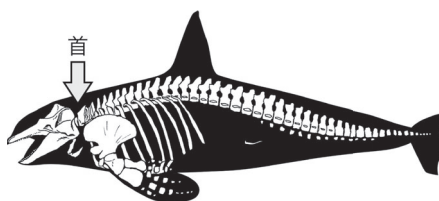


図2 鯨類(シャチ)の外形と全身骨格。外見からは分からないが、骨格にはちゃんと首がある



図3 北太平洋に生息するカマイルカ

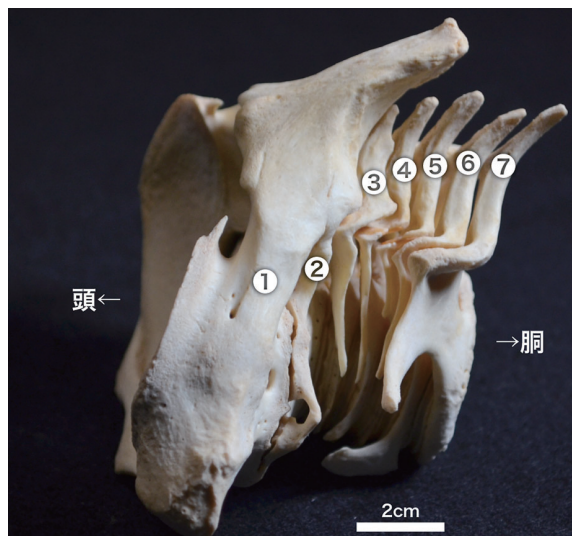


図4 カマイルカの頸骨。ほとんど癒合して動かないが、7個の骨が集まっている



学芸員
志賀 健司
Kenji Shiga

専門は地質学・漂着物学・海辺学。地球の環境の変遷などを調べるとともに、石狩の浜辺にどんなものが漂着し、それがどんな意味を持っているかを研究している。